

令和7年度 事業計画

日本の総人口は、令和7年1月の人口推計によると1億2,359万人で前年同期と比べ56万人の減少となり、その内65歳以上の高齢者人口は、3,621万人（総務省統計局令和7年1月1日現在）で、総人口に占める高齢化率の割合は29.3%となっており、高齢化率においては、前年同期と比較すると横ばいに推移し、少子高齢化と人口減少は依然、進行している状況となっています。

このような背景から、介護など多くの分野で労働者不足が深刻化する可能性があり、こうした状況が続く中で、賃金の上昇が期待される一方、若年層や女性の労働参加率の向上が重要なテーマとなると言われています。

また経済面では、世界的な物価上昇の影響を受け、インフレが続く可能性があることから、消費者物価が上昇し、生活費が圧迫されることが懸念されています。

関西では、本年4月から大阪夢洲において、大阪・関西万博が開幕され、万博がもたらす経済効果に大きな期待が寄せられています。

こうした中、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っています。四條畷市の特色や実情を踏まえて積極的な取り組みを強化していく必要性が高まっており、地域コミュニティーの増強を目的とした事業の展開を実施するため、昨年11月に女性部会を発足いたしました。今後、様々な取組みを検討し、就業会員の連携やコミュニケーションの充実に向けて活動を進めてまいります。

このような状況を踏まえ、令和7年度の当センターの事業では、新規会員の獲得、既存事業の確保並びに新規就業先の開拓、女性部会の発展・拡充、労働者派遣事業の推進等、事業の拡大をはじめ、会員の就業に繋がる各種講習会等に参加し、技能・技術の向上並びに会員の高年齢化に伴う全国的な重篤事故の発生状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取り組みを強化するとともに、健康を維持できる就業先の確保について適切な対応を図ってまいります。さらには、四條畷市広報誌のチラシ折込みやホームページを活用してセンターの情報等を発信し、普及啓発に向けた取組みを進めてまいります。

また、昨年導入したデジタル機器（パソコンやスマートフォン等）を活用し、センターの業務や情報伝達等の効率化を図る会員向けクラウドサービスも順調に稼働しており、センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を合い言葉に、会員、役職員が一丸となり積極的な事業展開と事業のより一層の充実を図りながら、引き続きSDGs（エスディージーズ 持続可能な開発目標）の推進、新たな取組としてDX（デジタルトランスフォーメーション）の認定を取得できるよう推進し、次に掲げる公益目的事業の推進に努めてまいります。

1. 就業機会提供事業

就業を希望する会員に対し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務の就業の機会を提供する。

- ① 除草作業、清掃作業、庭木の剪定、襖・障子の張替え作業、施設管理業務など既存業務の実施及び拡充
- ② 草刈作業の効率化を図るための機械化推進に向け再度調査を検討
- ③ 多機能プリンター複合機を活用した業務の拡大
- ④ 新規就業先の開拓
- ⑤ 新規事業の調査検討

2. 就業機会確保事業

(1) 普及啓発事業

ホームページや就業等を通じて社会参加を希望する高齢者及び地域社会に対しセンター事業の周知を図る。

- ① 新規会員の入会促進
 - * 四條畷市広報誌への折込みチラシの実施
 - * 既存会員による紹介キャンペーンの実施
 - * 会員募集のチラシ配布
 - * 女性部会を主体とした女性登録会員の拡大
 - * 出張入会説明会の実施（田原地区）
- ② 市役所窓口封筒への広告掲載
- ③ 普及啓発物の配布
- ④ 普及啓発月間の活動強化
 - * 『シルバーの日』の駅前清掃ボランティア活動を通じセンター事業の啓発を図る。
- ⑤ ホームページの活用強化

(2) 研修・講習会事業

- ① 会員の技術や知識が必要とされる職種について、就業できる会員の養成・技能向上を目的とした研修、講習会を実施し、就業機会や就業会員の拡大を図る。

ア 各種技能講習会の開催及び参加

- * 大阪府シルバー人材センター協議会、河北地区ブロック等の開催に参加

イ 就業会員のフォローアップ研修に参加

ウ 安全講習会の開催

② 職員向けの研修・講習会への参加

- * 大阪府シルバー人材センター協議会や四條畷市等が開催する研修会への参加

(3) 剪定木再生利用事業（チップ事業）

剪定木を粉碎・堆肥化し、土壌改良材として再生利用する。

- * 土壌改良材（チップ）の頒布

(4) シルバーふれあい農園事業

四條畷市域においては、農業従事者の減少、高齢化に伴い耕作放棄地等が増加傾向にあることから、そうした農地などを借り受け、農作業に興味のある高齢者を募り、野菜等の栽培、販売を行い農地の保全に努める。

- * 野菜の栽培、販売
- * 借り受けた農地の保全

3. 安全衛生・適正推進事業

会員の就業中での安全に対する意識の徹底、就業途上での交通事故及び防止を含めた安全に関する講習会等に取り組む。

- ① 安全衛生管理意識の啓発
- ② 安全就業基準の周知徹底
- ③ 適正就業の推進
- ④ 作業現場パトロールの強化
- ⑤ 事故原因の検証と対策の徹底
- ⑥ 交通安全講習会の実施

4. 職業紹介事業

公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が行う職業紹介事業の実施事業所として、臨時的かつ短期的、その他軽易な業務にかかる雇用による就業を希望する高齢者を企業等へ紹介する。

5. 労働者派遣事業

公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が行う労働者派遣事業の実施事業所として、臨時的かつ短期的な雇用による就業、又は軽易な業務に係る就業の推進に務める。

6. 訪問介護事業

介護保険法に基づく訪問介護事業として、サービスの提供を行うとともに、ヘルパー資格を持つ会員の拡充に努める。

7. 第一号訪問事業

介護予防・日常生活支援総合事業による第一号訪問事業として、サービスの提供を行うとともに、従事資格会員の拡充に努める。